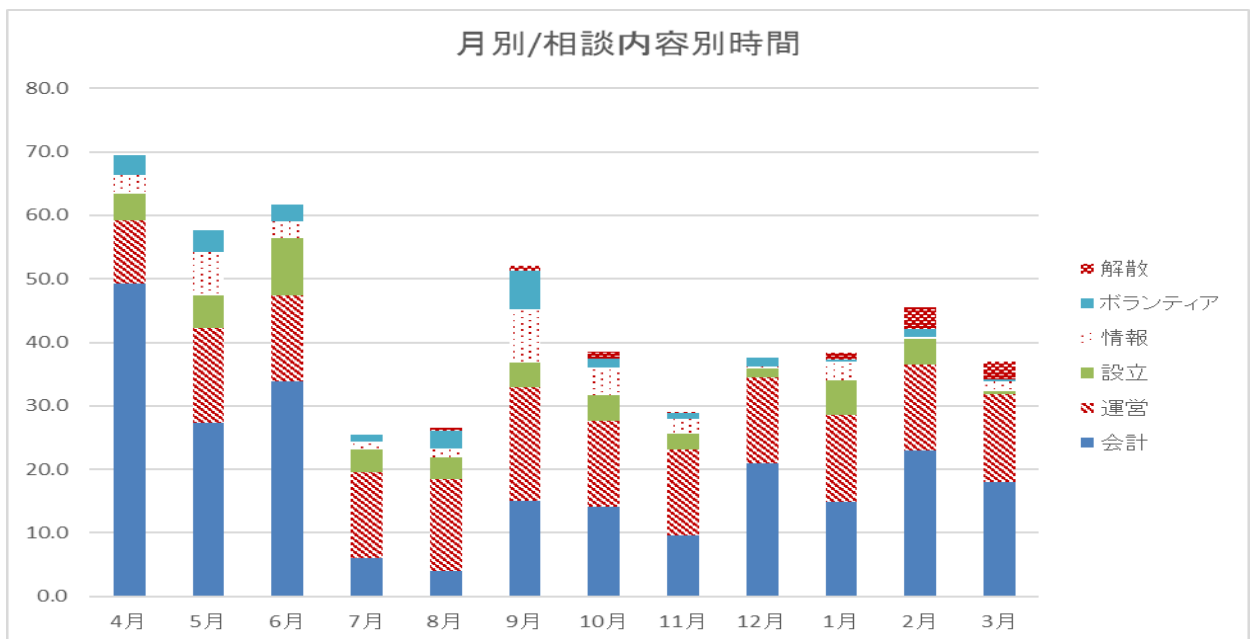
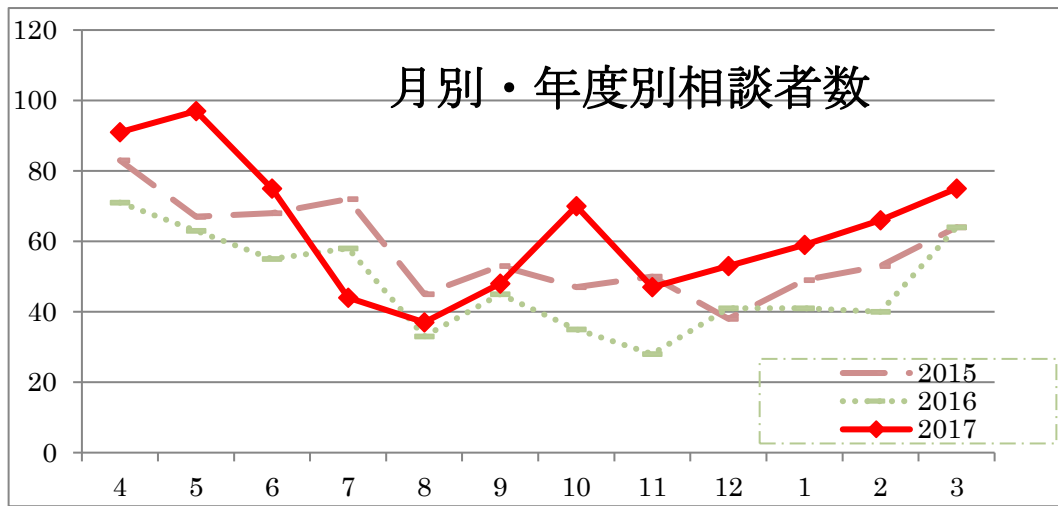


事業名	5. NPO・ボランティアサロンぐんまの運営委託事業
目的	多様な市民活動がさらに活発になるように群馬県全域を対象に支援を行うことを目的とし、群馬県により設置されている。
実施概要	<p>主な実施概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) NPO・ボランティアサロンぐんま施設設備の管理・利用（場の提供）</li> <li>(2) 市民活動に関する相談・助言（相談対応（電話等含む）、ネットワーク形成・連携・交流）・推進</li> <li>(3) 市民活動に関する情報の収集・提供</li> <li>(4) 県内に設置されたNPOやボランティア等の支援を行うセンターとのネットワーク形成・連携・交流</li> <li>(5) ボランティア保険の受付事務</li> <li>(6) セミナー等の実施</li> <li>(7) その他サロンの管理運営に関して</li> </ul>
成果&課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) NPO・ボランティアサロンぐんま施設設備の管理・利用（場の提供） 今年度5305件（昨年度5770件）。昨年と比較すると全体で8%の減となった。時間帯別でみると15-18で21.9%、18-19で18.6%、19-20で12.3%の減と後半の減りが目立つ。今年度より土曜日の開館時間が3時までと変更になった為、一概に比較はできない。時間帯別では日中の利用が多い傾向にある。予算削減によるセミナーの実施回数減も利用者数の減少に拍車をかけた。昨年度に比べ、テーブル利用684件（昨年761件）と10.1%減少。パソコン利用は295件（昨年499件）で40.8%の減少と大きい。印刷利用407件（昨年492件）と17.2%減少。</li> <li>(2) 市民活動に関する相談・助言 <ul style="list-style-type: none"> <li>①相談対応（電話等を含む）及びコーディネート業務 相談等対応 1375 件（内その他の対応 613 件）（昨年合計 1170 件、内その他の対応 596 件）、電話対応 780 件（昨年 660 件）予約相談 156 件、salesforce 入力 671 件、相談時間合計 484 時間（昨年 予約 78 件 入力 535 件、合計 338 時間）NPO 関係以外の相談や問い合わせも多い。</li> </ul> </li> </ul>



## ②ネットワーク形成・連携・交流

### 会議参加

群馬県社会福祉協議会 VC 運営会議 8/21、9/12、3/9

中央労金 6/15 インタビュー 12/15 欠

群馬県共同募金会助成金関連交付式 4/5 および関連会議 4 回、配分式 6/14、説明会 8/2、街頭募金 1/20

伊勢崎市協働助成金審査 6/25

JT 助成金交付式 5/25

高齢介護策定会議 9/13、12/19

埼玉ブロック会議 9/21

伊勢崎市民活動センター 交流会 10/24

EP012/12 関東 EP0 交流会 in ぐんま 2/1、ひとづくり 2030SDG's 3/4

ろうきんは 12/15 セミナー実施日と重複で出席できなかった。社会福祉協議会、JT は担当者交代した。

### ③ボランティア活動体験の場づくり

#### 1. 収集ボランティア

プルタブは、前橋市社会福祉協議会第二作業所へ持ち込み寄付。使用済み切手、未使用はがきはシャプラニールに寄付として送付。持込者には寄付先の情報を提供した。回収等無料のインクカートリッジの回収を始めたが、まだ一般の利用はない。

#### 2. NPO法人が受入れる夏休み学生ボランティア

5月に群馬NPO協議会総会の案内にボランティア募集のチラシを同封した。夏休み学生ボランティアのファイルを作成し、大学・短大14校に発送。QRコードを利用し検索し易いように工夫している。学生にボランティアを紹介したい新設医療大学にボランティア情報提供と情報収集をした。

### (3) 市民活動に関する情報の収集・提供

#### ①書籍・資料・新聞等の受入、整理、登録、展示等

書籍利用28件（昨年25件）、購入書籍12冊（昨年5冊）、寄贈2冊（昨年0冊）

新聞は県から借りた上毛新聞、朝日新聞、読売新聞を当番がコピーを取り担当がファイリングと一覧表作成を行ってる。一覧表はミーティングで共有するようにしている。

子ども食堂、学習支援関係の掲示板コーナーは引き続き掲示。

県内市民団体活動、県外市民団体活動については必要と思われる記事は掲示、後日ファイリングしている。書籍購入費予算は30,000円で25,742円購入。書籍貸出し件数は微増。

#### ②チラシ・ポスター等受入、登録、展示

受け取り数708件（昨年743件）と減少。資料閲覧は1321件（昨年1,592件）と17%減少。

子ども食堂、学習支援関係の掲示板コーナーは引き続き掲示。問い合わせもある。企業との協働コーナーを作った。SDG'sの17分野別掲示にした。

#### 課題

チラシ掲示期間、内容をふまえた掲示を心がけている

#### ③インターネットやメールを活用した情報提供（TV・ラジオ・ブログ、Facebook）

サロンブログ投稿123件（昨年115件、一昨年129件）

受け取り（Jimdo）のブログアップ231件（昨年5/16～218件）

facebookでの投稿354件（昨年297件）

#### 課題

全体的に増加。Facebookは勤務外での投稿もある。サロン事業、都内でのセミナーの報告、助成金情報、NPO法人訪問記など最新情報をできるだけ速やかに提供できるよう心掛けている。

#### ④の他情報収集・提供

##### 1. 情報収集・出張

県内研修情報収集は延べ35回、合計103時間（34.3時間/人）年間情報収集の合計時間3人分で120時間に対し、実績は約103時間。もう少し情報収集を行っていきたい。

##### 2. 研修参加

2017/6/14	水	認定NPO申請入門セミナー（飯田橋）
2017/6/16	金	認定NPO申請書作成ワークショップ（芝公園）
2017/7/20	木	中間支援組織スタッフ支援アップ塾（東京中野）
2017/9/29	金	休眠預金地方公聴会
2017/10/5	木	salesforce 活用セミナー
2018/1/25	木	CEO 会議
2018/2/20	火	SDGs ゲーム
2018/3/4	日	SDGs（東京ウイメンズプラザ）
2018/3/4	日	ひとづくり 2030（東京ウイメンズプラザ）

一人3回合計9回の県外研修を計画しており、予定通り実施出来た。

### 3. 講師依頼

11/9 共同募金より寄付募集にむけて

11/20 ふじみ野市会計

12/11 高崎市中央公民館シニアボランティア講座

12/22 ふじみ野市会計

2/18 高崎市中川公民館シニアボランティア講座

(4) 県内に設置されたNPOやボランティア等の支援を行うセンターとのネットワーク形成・連携・交流に関して

#### ①市民活動センター情報交換会の企画及び運営



6/9市町村域中間支援センタースタッフ11センター17名、サロンスタッフ3名、群馬県2名の参加で情報交換会を実施。本年度事業計画は一覧表にして配布した。他のセンターへの質問事項を挙げてもらい、聞きたい事柄の多い順に、センターより情報を提供してもらい、共有をはかった。昼食交流会への希望があり実施したが、当日は参加者がいなかった。NPO個別相談で支援センターに行く機会が増えた。

#### ②個別相談

7/28（水）10時～16時「関東信越税理士会高崎支部とNPO・ボランティアサロンぐんま連携による個別相談」高崎市総合福祉会館で実施。NPO法人7法人9名 協力税理士6名 ソリマチ1名 サロン3名 参加。

9/8 太田 前半：10法人11名 サロン2名 税理士1名 後半：3法人4名 税理士1名 サ

成果  
& 課  
題

ロン2名 欠席連絡 1 法人2名  
10/6高崎 前半：7法人11名 サロン2名 協議会1名 税理士1名 後半：2法人3名 税理士1名 サロン2名 協議会1名  
11/10藤岡 前半：5法人7名 サロン2名 税理士1名 後半：2法人5名 税理士1名 サロン2名  
12/1前橋 前半：21法人26名 サロン3名 税理士1名 後半：3法人6名 税理士1名 サロン3名



成果  
& 課  
題

**課題**

高崎支部会協力税理士は事前にソリマチソフト研修も受講し相談会に臨んでくれた。会計ソフトの初期設定を団体の実データを入力し、体験版でその後実質的な入力ができるサポートは好評であった。税務相談的な内容となるケースもあったが、概ね参加者の評価は好評。時間帯は午前と午後各3団体にした。サロンは助っ人1名を頼み開館業務を行い、現地職員3名体制で行った。太田では、市役所に会場手配の協力が得られず、NPO法人ウイング尾島にお世話いただき、大変すばらしい会場で実施できた。またサロンから2名現地に出ていくため、サロンシフトには助っ人を1名頼み、現地では新田環境みらいの会とウイング尾島が会場設営、撤収を手伝ってくれた。前半はNPO法人事務処理と会計基準説明会を複数法人に行い、税理士を含めた質問時間をとった。その後個別相談希望の法人にはあらかじめ予約をとり対応した。相談後、税理士からはブリリアントスマイルは無償フォローやサロンへの補足説明のフォローをしてもらった。高崎は前半の税理士に対する質問はなく、早めに個別相談に移行した。1団体コーディネーター個別質問対応ですんだ。相談が長引いた団体のため、間をおいての2団体相談枠で対応した。前橋では事前申し込みがなく、突然参加の人が多数おり、多めに作成しておいた資料が足りなくなってしまった。

③センター向けセミナー

6/9長浜さん13:30から16:30 県庁昭和庁舎35会議室において、株式会社PubliCo の長浜洋二さんをお招きし、これからの中間支援センターに必要な力についてお話いただきました。

参加者は中間支援関係者（センタースタッフ 行政 センター受託団体）28名、NPO法人、一般社団等39名、合計67名が参加した。

支援プレイヤー多様化 主体側が変化しており、ハード、ソフト両面の機能のうちソフトの強化が大変重要になってくる。

課題発見力、情報発信力、資源開発力、コーディネート力、伴走支援力、評価分析力、ビジョン構築力が重要。

ロジックモデルについて説明を受けた後、資源の投入、活動、結果、成果（短期・中期・長期）、波及効果で整理するロジックモデルを活用した支援力アップが紹介された。

#### 課題

ロジックモデルは、休眠預金活用において重要なことが理解できた。センタースタッフだけではなく、参加した NPO 法人にとっても大変有意義な内容となった。

成果  
& 課題

#### (5) ボランティア保険受付

8 件 495 名対応(昨年 13 件 540 名対応)

月別対応数は 4 月 6 件、8 月 1 件、1 月 1 件。

4 月は相談者も多く、対応が大変だった。

社協 V 保険とは別にやり続けていく事。

#### (6) セミナー等の実施

##### ①「初めての決算」

4/8 10:00~16:30 県庁昭和庁舎 35 会議室にて、初めて決算を迎える団体を対象にした恒例のセミナー実施。NPO 法人の税務（みどりの県民税の加算）、NPO 法改正、事業報告書の書き方、会計基準、監査の受け方、仕方、県税務課、県民生活課、サロンスタッフ等で説明。参加者 17 団体 33 名、サロン関係者 3 名、群馬県 2 名計 38 名の参加。

#### 課題

説明時間枠を広げ、1 日にわたる講座とした。総会、理事会、監査が機能していない法人や、間違った決算書を作成している法人に新規法人が教を乞うようなケースも少なからず見受けられ、設立当初にこのようなセミナーは重要であると痛感している。

##### ② NPO 法人実務支援『みんなで作ろう決算書』

5/12 13:30~16:30 サロンにて収益規模 300 万円以内、資産は現預金中心、税務なしの法人対象。参加者 4 法人 4 名。IT サポーター 6 名、サロンコーディネーター 2 名。

H30/3/16 参加者 5 法人 10 名。IT サポーター 4 名、サロンコーディネーター 3 名。

#### 課題

エクセルの基本操作ができる人には便利に使える様子。基本からの人には受講後の予約相談や、メール相談、電話相談で対応している。

##### ③ NPO らくらく運営

9/15 ブログ開設と投稿 4 法人 7 名、ボランティア 5 名、サロン 3 名、合計 15 名。

10/20 facebook 3 法人 3 名、県商政課 1 名、ボランティア 4 名、サロン 3 名



#### 課題

急のキャンセルもあり調整が難しい。複数申し込み可能な為、とりあえず申し込んでキャンセルする団体もある。ブログ、facebook は事前に講師の IT サポーターとテキストを打ち合わせリニューアルした。次年度はブログのみ実施予定。商政課職員の参加から、次年度商政課委託事業に発展した。

#### ④ NPO 協働セミナー

2018/1/19



8/3 県社協セミナーでチラシ配布 9 月末に向け発表団体にアプローチ。県が高崎商工会議所に挨拶、NPO を対象にプレゼンのリハーサル実施 12/18 (5 団体 6 名) 12/20 (4 団体 4 名)、会場下見、商工会議所会員 4000 団体にチラシ配布。

第 1 部は企業、中間支援センター NPO 法人のそれぞれの立場からすでに行っている協働事例を発表。第 2 部は NPO 法人は 11 団体、企業 10 社が今後の協働を提案。第 3 部は一般聴講者を含め名刺交換会。合計で 77 名が参加。

名刺交換について 26 人回答、延べ 300 枚が交換された。

#### 課題

協議会役員の協力が得られた。参加役員も多数いた。参加企業がなかなか集まらなかったのが苦労した。

あんなかひだまりマルシェは募金百貨店プロジェクトにエントリー。ふるさと再生ネッ

トワークのイベントにプルデンシャル生命の社員が参加。第九合唱団に企業若手社員が入団。市民立ぐんま NPO センターがエコボランティアホームページ作成支援。波宜亭倶楽部はトヨペットにちらし配布。

次年度に向けて、企業アンケートと、サロンで協働事例展示を行うことを 600 社に呼びかけた。40 社より回答。回収率 6.7% 協働事例展示は 3 社のみ。

SDGs に向けたとりくみはまだ行っていないが、セミナー参加希望は過半数、SDGs に向けた協働の必要性は半数弱が必要と回答

休眠口座については 20%の企業が関心を示したが、半数以上には周知されていない。

休眠口座に関するセミナーへの参加を検討もしくは参加希望企業は 60%を超えている  
協働活動の実績に関しては、7%（3 社）がすでにしており、サロンにも掲示している。

今後協働については 13%5 社が関心があった。

社会貢献の実績は 15%（6 社）があると回答。

今後の社会貢献については 35%（14 社）が関心があった。

次年度の実施については様々な角度から検討が必要と思われる。

#### (7) その他サロンの管理運営に関すること

連絡ノート、毎月上旬と下旬の 2 回各 3 時間サロンミーティング実施し情報の共有をはかる。協議会役員の参加協力も得て、効率良い話し合いを心がけている。

Salesforce を新アカウントに 8 月 1 日より移行。旧団体の移行ができたが、団体に所属する複数個人の移行ができず、手動入力していたが、salesforce 研修に行き、移行することができた。今期は旧アカウントと新アカウントを合算し、分析を行った。対応履歴、参加セミナーなどの履歴については新アカウントには移行していない。

#### 課題

コーディネーターは 3 名体制で行っている。セミナーなどで、2 名、市外へ出かけるときは、元コーディネーターにサロン勤務をお願いしている。